

<p>地区名</p>	<p>中央区</p>
<p>研究主題</p>	<p>理科の見方・考え方を働かせ、 主体的に問題を解決する児童の育成</p>
<p>1 主題設定の理由</p> <p>今回の学習指導要領の改訂では、各教科で育成する資質・能力を「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性」の3つの柱に整理し、教科の本質に根ざした「見方・考え方」を働かせて育成することが目標とされている。理科においては、これまで「科学的な見方・考え方」を育成することが目標に位置付けられてきた。今回、「理科の見方・考え方」を働かせ、「問題を科学的に解決するために必要な資質・能力」を育成することに目標が再整理されたことを踏まえ、理科において働かせる「見方・考え方」と育成する「資質・能力」について改めて検討、整理するとともに、効果的な指導方法を追究していくことが必要であると考えた。</p> <p>一方、本区の現状に目を向けると、様々な学力調査の結果等から知識・理解に関する項目は満足できるものの、見通しをもって学習する力や問題に対して根拠をもった予想を立てることが課題として明らかになっている。</p> <p>そこで、問題解決の学習過程の各段階における課題と、そこで働かせる見方・考え方を明確にするとともに、「主体的、対話的で深い学び」を通じた、問題を科学的に解決する資質・能力を育成することをめざして、研究主題を「理科の見方・考え方を働かせ、主体的に問題を解決する児童の育成」と設定し、研究に取り組むこととした。</p> <p>また、若手教員の増加、理科支援員の配置など、近年の校内事象も考慮する必要がある中、各校において理科における資質・能力を育てる授業が広く展開されるよう、研究の成果を発信していくことにも取り組む。</p>	

2 研究方法及び内容

(1) 授業研究

- ア 働かせる見方・考え方を明確にしながら指導計画を作成する。
- イ 作成した指導計画を各校で実践し、報告をもとに検証を行う。
- ウ 区内全校の実践に活かせるような実践記録の蓄積と発信を目指す。

(2) 授業研究の共有

- ア 分科会で研究した内容を部会内で発表・共有する。
- イ 来年度の実践を視野に入れ、研究の成果を基に指導案を作成する。

3 授業研究の概要

今年度は、各学校における新型コロナウイルス感染防止の取組状況に鑑み、研究授業の実施は見合わせることにした。そこで、中・高学年分科会に分かれ、研究主題を踏まえた教材研究及び指導計画を作成し、部員が各校で授業実践を行う。実践時には写真や動画などの検証データを集め、これらを報告、共有し、検証することで指導力・専門性の向上を目指すとともに、次年度の指導に生かせるようにする。なお、本年度は以下の単元について研究に取り組むこととした。

中学年分科会：第3学年「電気の通り道」、第4学年「ものの温度と体積」

高学年分科会：第5・6学年「水溶液」

～2学年の系統性を踏まえた指導計画の作成～

4 理科実技研修会

本区では、初任者等若手教員の理科の実験に関する知識、技能の向上と事故防止を目的に、薬品や加熱器具の取り扱い方、理科の授業の進め方と教材の使用方法等について、夏季休業中に3回実技研修会を実施している。講師は本区理科部員が務める。

5 小学校科学教室

本区では、教育センターの事業として科学教室を実施している。本区理科部員も講師として指導にあっている。